

Investment Commentary

(米国市場に関するコメント)

January 19, 2010

ご参考資料

年始から好調な滑り出しを見せた株式市場は先週、幾つかの経済指標の悪化を受け下落しました。ダウ工業30種は0.1%下落の10,610ドル、S&P500指数は0.8%下落の1,136ポイント、ナスダック総合株価指数は1.3%下落の2,288ポイントでそれぞれ引けました。

ここ数週間に発表された経済指標は全体的には若干悪化基調を示していますが、我々の緩やかな景気回復の見通しを覆すほどのものではありませんでした。先週発表された小売売上高は予想を下回る減少を示し、大きな注目を集めました。一方、ポジティブな材料として、コンファレンス・ボードが発表した景気先行指数は6ヶ月連続で上昇し、2009年1月以降で最も高い水準にあります。さらに、企業収益の展望も改善傾向にあります。第4四半期の決算発表はまだ本格化しておらず、全体の5%しか発表されていませんが、その内の87%が事前予想を平均で11%上回るなど、強い数字を示しています。我々は、今後もポジティブなサプライズ(同じような数字ではないかもしれないが)が続くことを期待するとともに、継続的な売上改善が見られると予想しています。

我々は、収益の改善が労働市場にプラスの影響を及ぼし始めたと考えており、個人消費の改善に加え、第1四半期には雇用の伸びが見られると予想しています。労働市場がプラスの伸びに転じることは、足下の景気が自律回復の軌道に乗るための重要な要素であると考えています。

世界に眼を転じると、我々はグローバル経済についても依然として景気回復の軌道に乗っていると考えています。世界の金融及び財政政策は依然として経済成長の進展を前提としており、需要水準が上昇しているとともに、クレジット市場の緊張は引き続き和らいでいます。また、インフレが抑制されていることや、在庫が改善されていること、さらに株式市場の上昇などが景気回復に貢献すると考えられます。金利面を見ると、我々は、今年は金利が上昇すると考えており(年末の10年米国債は4.5%近辺になると予想)、FRBは、引き続き唐突というよりはむしろ徐々に景気刺激からの出口戦略を模索すると考えています。我々は、FRBがFF金利の誘導目標を現在の0%~0.25%の水準から引き上げると予想しているものの、今年の上期中にその行動を起こすとは考えていません。

こうしたゆっくりとした景気回復や緩やかな金利上昇といった状況が、2010年、よりリスクの高い資産が継続的にアウトパフォームする上で支援材料となると見えています。我々は、とりわけ株式や社債がキャッシュや米国債をアウトパフォームする可能性があるかと予想しています。アウトパフォームの水準は2009年ほどではないと考えられるものの、そのトレンドは継続すると考えています。

BLACKROCK



Bob Doll
ボブ・ドール

ボブ・ドールは、ブラックロックの副会長兼ファンダメンタル株式のグローバル最高運用責任者です。ドールは、ブラックロック大型株シリーズ・ファンドのシニア・ポートフォリオマネジャーです。ドールは、2006年にブラックロックとメリルリンチ・インベストメント・マネジャーズが統合する前は、メリルリンチ・インベストメント・マネジャーズの社長兼最高運用責任者でした。ブラックロック・グループの2009年9月末時点の運用資産残高は3.19兆ドル(注)です。

(注)データは2009年9月30日現在。統合前のブラックロック・インクとパークレイズ・グローバル・インベスターズの運用資産額を合算しており、その後変更の可能性がります。

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。当資料は、ブラックロック Inc. が作成した資料をブラックロック・ジャパン株式会社が翻訳したものです。

S&P500はThe McGraw-Hill Companies, Inc.の登録商標です。

NASDAQはNASDAQ Stock Market, Inc.の登録商標です。

ウェブサイト www.blackrock.co.jp